

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	栗津 勤
評価者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	栗津 勤

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	生涯スポーツの普及・振興	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	400,000 (R2)	396,776 (H30)	419,820 (R1)	A
施策2	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (R2)	2,608 (H30)	2,660 (R1)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題					課題に対する主な取り組み					評価			
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1	生涯スポーツ活動の推進	人	400,000 (R2)	396,776 (H30)	419,820 (R1)	1	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	10,000	9,244	A	継続
		2					いしかわスポーツマイレージ事業	県民	3,000	2,800	B	拡大	
		3					いしかわトップスポーツチーム地域貢献協働推進事業	県民	8,000	7,666	B	継続	
	課題2	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	市町	19 (R2)	12 (H30)	12 (R1)	4	広域スポーツ支援センター事業	県民	3,386	2,163	C	継続
施策2	課題1	国民体育大会男女総合成績	順位	20位台以内 (R2)	23 (H30)	35 (R1)	5	選手強化事業	強化指定選手	192,900	191,713	C	見直し
							6	高校生強化事業	指定運動部	20,800	20,800	B	継続
							7	中学生強化事業	中学選抜選手	7,500	7,500	B	継続
							8	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,000	2,000	B	継続
		9	いしかわジュニアアスリート発掘事業	小学生	2,400	2,085	B	継続					
		10	いしかわアスリートキャリアサポート事業	県内就職希望者	800	10	C	継続					
		11	障害者アスリート支援事業	障害者アスリート	2,000	604	A	継続					
		12	いしかわオリンピック特別強化支援事業	指定競技団体	6,000	6,000	B	廃止					
	運動能力測定会参加人数	人	600 (R2)	320 (H30)	605 (R1)								
	県内企業へのアスリート就職者数	人	10 (R2)	5 (H30)	5 (R1)								
	申請件数	件	20 (R2)	12 (H30)	25 (R1)								
	オリンピック出場人数	人	10 (R1)		1 (R1)								

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催 事業費	事業開始年度	H4	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	第2期石川の教育振興基本計画		

作組	織	スポーツ振興課			
成職	氏名	主事 坪川 拓実			
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4385			

事業の背景・目的

本県では過去2回(2011年、2015年)、競技志向の高いシニア世代の祭典として日本スポーツマスターズ大会を開催し、生涯スポーツの振興に寄与している。日本スポーツマスターズ大会によって醸成された、生涯スポーツの気運の高まりを継承し、本県の生涯スポーツの振興を図るとともに、広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実をめざす。

事業の概要

- 1 主 催 石川県
- 2 期 日 令和元年5月～6月(中心開催期間)
- 3 参加者数 約20,000名
- 4 内 容

(1) 総合開会式および著名な講師によるスポーツ交流教室

会 場： いしかわ総合スポーツセンター
 参加団体： 種目団体(約1,000名)、市町参加者(約1,000名)
 内 容： 開会宣言
 大会長(知事)あいさつ
 選手宣誓
 アトラクション(バトントワリング・マーチングバンド等)
 (総合開会式終了後)
 知事と種目団体とのスポーツ交流
 いしかわスポーツマイレージ事業のPRイベント
 オリパラマスコットキャラクターを活用したイベント(予定)
 種目別大会(2種目程度)、スポーツ交流教室
 健康づくりプログラム(運動能力測定等)

(2) 種目別大会(場所・期日は未定) グラウンドゴルフ他44種目
 大会活性化のための取り組み(トップ選手との交流、初心者向けの体験会等(10種目団体))

(3) ニュースポーツ体験広場・協賛大会

開 催 地： 開催希望市町および総合型地域スポーツクラブの設立されている地域
 主管団体： 市町スポーツ担当および総合型地域スポーツクラブ(14クラブ)
 実施種目： ニュースポーツ体験、親子スポーツフェスティバル、スポーツ講演会など

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興				評価	A
課題	生涯スポーツ活動の推進					
	指標	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)			単位	人
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	400,000	325,570	351,845	372,240	396,776	419,820

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	5,075	10,000	10,000	10,000	10,000
	決算	5,024	9,655	9,774	9,511	9,244
一般	予算	2,984	7,591	7,591	7,591	7,591
	決算	2,984	7,246	7,377	7,573	7,529
財源		決算	2,984	7,246	7,377	7,573
事業費累計		217,077	226,732	236,506	246,017	255,261

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>左記の評価の理由</p> <p>総合開会式の開催及び各種目団体等による広報活性化などの取組により、参加者は4年連続で2万人を超え、令和2年度大会で累計40万人達成という目標値を1年前倒しで達成した。</p> <p><全体の参加人数> R1:23,044人(前年度比1,492人減)</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">継続</p> <p>県民のスポーツライフの充実を目指すため、県民の誰もが気軽に参加できる大会とし、継続して開催する。また、大会の活性化を図るため、参加団体・市町数の増加促進及び参加者増加のための広報活動に取り組むとともに、総合開会式では、新たに創設されたいしかわ県民スポーツの日記念イベントの併催として、オリパラ競技体験等を実施し、県民のスポーツ意識の高揚を図る。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわスポーツマイレージ事業費	事業開始年度 H30	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画

作 組 織	スポーツ振興課
成 職・氏名	主事 坪川 拓実
者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4385

事業の背景・目的
 県民のスポーツに親しむきっかけづくりや継続して運動に取り組む習慣づくりを促進するため、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の3つの活動をポイント化し、多様なスポーツ活動をサポート支援する。

事業の概要
 1 内容
 スマートフォンアプリの運用
 ウォーキング等のスポーツを「する」ことのみならず、観戦等のスポーツを「みる」ことやボランティア等のスポーツを「ささえる」こともポイント化するスマートフォンアプリを開発し、貯まったポイントを利用して、特典を得られる抽選を実施する。

主な機能・利用方法

- ・スマートフォンの歩数計機能を活用し、計測した歩数をポイント化する
- ・スポーツの大会、イベント会場に設置されたQRコードを読み取ることでポイント付与
- ・貯めたポイントを使って、抽選を実施
- ・「5日連続5000歩」といった短期的な課題を達成すると、先着で景品がもらえる期間限定キャンペーンの実施(春・夏・秋・冬の年4回)
- ・アプリのGPS機能を使った試合観戦によるキャンペーンの実施(通年)

協賛企業について
 飲料メーカー、食品メーカー、スーパーマーケット、ドラッグストアなどが協賛企業(14企業・団体)となり、景品の提供や広報について協力いただいている。

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	A			
課題	生涯スポーツ活動の推進					
	指標	アプリのダウンロード数	単位	件		
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	20,000				5,362	13,197
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算				8,000	3,000
	決算				8,305	2,800
一般	予算				8,000	3,000
	決算				8,305	2,800
財源	決算				8,305	2,800
事業費累計		0	0	0	8,305	11,105
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役立ったか)	B	平成31年3月よりアプリの配信を開始し、令和2年3月までに2万件の目標達成に向け、順調にダウンロード数を伸ばしている。 (各機能の利用者数:する 13,197、みる 869、ささえる 996) ポイントを用いた抽選の際には、当選した利用者から今後のモチベーションにつながるという声も多数寄せられており、継続的な運動習慣づくりに貢献している。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	「グループ内ランキング」、「グループ対抗ランキング」といった新機能を追加し、団体や企業、友人や同僚同士などのグループでの利用を促進することで、目標ダウンロード数達成を目指す。 また、利用者からの意見等を参考にしつつ新機能やキャンペーンを開発し、さらなる利用促進を図っていく。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわトップスポーツチーム 地域貢献協働推進事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	主事 増井 しほ		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1392 内線 4385

事業の背景・目的

スポーツ振興を核とする包括的連携協定を締結した県内トップスポーツチーム(7チーム)と連携して、親子向けイベントの開催やスポーツ教室等を行うことで、県民全体のスポーツに対する応援気運を醸成し、スポーツの裾野拡大や競技力向上を図る。

○協定締結先

ツエーゲン金沢(サッカー)、石川ミリオンスターズ(野球)、金沢武士団(バスケットボール)、北國銀行ハンドボール部Honey Bee、PFUブルーキャッツ(バレーボール)、金沢学院クラブ(バドミントン)、【H31.2～】ヴィンセドール白山(フットサル)

○連携内容

- (1) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催
- (2) 国体等に向けた競技力の向上のための練習会等の開催
- (3) 試合や地域貢献活動に関する広報等の実施による県民をあげた応援気運の醸成
- (4) 首都圏など大都市圏等から石川県への観光誘客に効果的なPRの実施
- (5) その他、石川県政の施策、事業との連携など

事業概要

(1) スポーツチームとの交流イベント(いしかわスポーツキッズフェスタ)の開催

実施主体 実行委員会
内 容 親子を対象としたスポーツの体験・チームとの交流イベント

(2) 裾野拡大のためのスポーツ教室等の開催

実施主体 各チーム
内 容 小中学生対象のスポーツ教室や職業講話
スポーツクラブ等対象の教室

(3) 国体等に向けた競技力向上支援

実施主体 各チーム
内 容 指導者対象講習会開催、選手との合同練習

施策・課題の状況							
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	A				
課題	生涯スポーツ活動の推進	評価					
	交流イベント参加者	単位	人				
	指標	目標値	現状値				
		令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		1,000			3,500	1,000	

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算				9,000	8,000
	決算				6,725	7,666
一般財源	予算				9,000	8,000
	決算				6,725	7,666
事業費累計		0	0	0	6,725	14,391

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	左記の評価の理由 B H31年2月より包括連携協定を締結したヴィンセドール白山を加えた県内トップチーム7チームと、協定に基づき、選手等との交流・スポーツ体験イベント「いしかわスポーツキッズフェスタ2019」を8月に開催し、約1000人の参加があった。 また、昨年度より16校多い40校(小学校33校、中学校7校)においてスポーツ教室、職業講話を開催し、スポーツの裾野拡大を促進するとともに、スポーツを通じた各チームの地域貢献活動の一環にもなった。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続 さらにスポーツの裾野拡大に向け、参加者のアンケートなどを元に内容を工夫し、引き続き本事業を実施する。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 広域スポーツ支援センター事業費	事業開始年度 H16	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 第2期石川の教育振興基本計画	

作	組	織	スポーツ振興課			
成	職・氏名	主事	坪川 拓実			
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4385				

事業の背景・目的
 地域のスポーツ振興のための方策として、総合型地域スポーツクラブの設立を促進し、運営をサポートする。クラブ設立・運営のためにクラブマネージャーの養成講習会の開催、指導・助言を行う講師の派遣を行うとともにクラブアドバイザーを配置し、クラブ訪問や相談など、きめ細やかな支援を行う。
 また、スポーツ情報ネットワークにより、県民へさまざまなスポーツ情報を発信する。

- 事業の概要**
- 1 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
 県内35のクラブと19市町の担当者が一同に会し、研修会・グループワーク等を通じて、総合型地域スポーツクラブとその運営に対する理解を深めるとともに、両者の連携関係の構築を図る。
 - 2 クラブマネージャー養成講習会
 日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会を兼ね、主に新たに総合型地域スポーツクラブの運営に携わる方を対象として、総合型地域スポーツクラブやその運営に関わる基礎的な知識の習得を図る。
 - 3 クラブアドバイザー配置事業
 平成29年からtoto助成金を活用して、県広域スポーツ支援センターの下にクラブアドバイザーを1名配置し、県内のクラブを訪問し、各クラブの状況把握及び運営の相談・指導を行う。令和元年度からは、近隣クラブと所管市町との連携関係構築のために地域ごとの連絡協議会を開催する。
 - 4 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」の運用
 県内の総合型地域スポーツクラブ情報に加え、イベント・施設・スポーツ指導者など様々なスポーツ情報を掲載するHP「スポナビいしかわ」を運用する

これまでの見直し状況

平成16・17年度：国の広域スポーツ支援センターモデル事業を実施
 平成18年度：県単独事業として広域スポーツ支援センター事業を実施
 平成29年度：独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成金事業を活用して、県広域スポーツ支援センター内にクラブアドバイザーを設置(クラブ訪問や相談等の支援)

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興				評価	A
課題	総合型地域スポーツクラブの創設を支援					
	指標	総合型地域スポーツクラブ創設市町数			単位	市町
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	19	13	13	12	12	12

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	予算	2,465	2,374	2,926	3,174	3,386
	決算	2,425	2,246	2,475	2,347	2,163
一般財源	予算	2,465	2,374	2,120	1,982	2,473
	決算	2,425	2,246	2,172	2,191	2,030
事業費累計		48,097	50,343	52,818	55,165	57,328

評価	
項目	評価
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</p> H29年度にクラブアドバイザーを設置し、総合型地域スポーツクラブへ運営面の指導・助言や、未設置市町への普及啓発を行っているが、新たに総合型地域スポーツクラブが創設された市町はなかった。 クラブ数(R1):36団体(12市町)(H30:35団体(12市町)) クラブアドバイザーによる指導・助言(R1):11件 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」は、年間アクセス数がR1年度も30万件を超えており、県民にスポーツ情報を継続的に発信することができた。 (H29:305,795件、H30:309,364件、R1:303,224件)
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">継続</p> 総合型地域スポーツクラブが地域スポーツの担い手として、継続的・安定的に運営できるようクラブアドバイザーを活用し、個々のクラブにきめ細やかな指導・助言を行うなど、引き続き、クラブの設立促進や地域での自主運営に対する支援を行う。 また、令和2年度は、前年度に開始した近隣クラブと所管市町との連携関係構築のために地域ごとの連絡協議会をより幅広い地域で開催する。(R1:2市町→R2:6市町)

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 選手強化事業費	事業開始年度 S38	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課
	根拠法令 ・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画	成 職・氏名 専門員 浅田 崇一 者 電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4380

事業の背景・目的
国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「福井国体」での天皇杯得点順位23位を踏まえ、短・中期的な計画のもと、更なる上位入賞、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。

事業の概要

1 選手強化事業
国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(1)成年強化事業

ア基礎強化 対象者 41競技815人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等

イ重点強化 対象者 過去2回(72,73回)の国体で実績ある競技団体
北信越大会で実績のある競技団体
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(2)少年(中・高)強化事業

ア基礎強化 対象者 38競技671人(監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

イ重点強化 対象者 過去2回(72,73回)の国体で実績ある競技団体
北信越大会で実績のある競技団体
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

2 ジュニア選手育成事業
将来、国民体育大会および全国大会等において優秀な成績を収めるために、全国大会で実績を挙げている競技団体を指定し、有望な小・中学生を育成・強化する。
対象：中央競技団体主催の小・中学生全国大会で、好成績を収めた競技団体を指定(指定16競技団体)
水泳、ボート、ボウリング、陸上、サッカー、テニス、体操、レスリング、ウエイトリフティング、卓球、相撲、柔道、バドミントン、ライフル射撃、空手道、トライアスロン

3 体育団体組織強化事業
国体で実施される正式競技以外の競技団体に補助金を助成し、組織及び選手強化を図る。
対象：15団体
綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、バイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、バウンドテニス協会、ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	B
課題	競技力向上対策					
	指標	国民体育大会男女総合成績			単位	順位
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
	20位台以内	29	36	28	23	35

事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業費	予算	190,200	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	190,200	192,366	192,750	192,900	191,713
一般財源	予算	190,200	192,900	192,900	192,900	192,900
	決算	190,200	192,366	192,750	192,900	191,713
事業費累計		6,556,971	6,749,337	6,942,087	7,134,987	7,326,700

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	国民体育大会男女総合成績は、35位(H30:23位)と目標の20位台を達成することができなかったが、個人競技の優勝者数が7人(H30:6人)、入賞者数は46人(H30:42人)と増加し、個人競技の健闘が見られた。 なお、過去10年7度20位台以内を確保しており、県体協や競技団体と連携して、本県スポーツの競技力の向上に向けた選手強化が図られている。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し	近年の国体入賞実績や有識者の意見を踏まえ、国体で入賞の可能性が高い北信越国体1位突破の競技団体へ強化費を手厚く助成できるように配分方法を見直し、重点的強化を図る。 また、ふるさと選手※を活用して強化に取り組む競技団体へ強化費を重点配分し、国体の直前強化の充実を図り、R2鹿児島国体では20位台復帰を目指す。

※ふるさと選手
成年種別に出場する選手は、次のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。(1)居住地を示す現住所 (2)勤務地 (3)ふるさと「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高校生強化事業費	事業開始年度 H4	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課
	根拠法令・計画等 第2期石川の教育振興基本計画		成 職・氏名 専門員 西村 剛
			者電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4380

事業の背景・目的
 全国高体連が主催または共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

事業の概要

- 1 指定期間**
平成31年4月1日～令和2年3月31日
- 2 指定方法**
県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県民文化スポーツ部で審査の上、県民文化スポーツ部長が指定
- 3 指定基準及び指定数**
【強化指定事業】
 <団 体>
 A指定 (5校6競技7運動部)
 平成29年度、30年度いずれも、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること
 B指定 (22校20競技34運動部)
 平成29年度、30年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること
 C指定 (4校4競技4運動部)
 令和1年度の北信越高校体育大会で優勝の実績があること
 <個 人>
 A指定 (3校2競技4運動部)
 平成29年度、30年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、令和1年度に当該校に在籍していること
 B指定 (5校6競技6運動部)
 平成29年度、30年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、令和1年度に当該校に在籍していること
 <駅伝強化> (2校1競技2運動部)
 令和1年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること
【重点強化事業】 (5校5競技7運動部)
 別途指定した競技の中から、県民文化スポーツ部と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定
【全国総体特別強化】
 2020年度全国高等学校総合体育大会において、本県で開催されるバスケット競技、自転車競技の強化を図るため、県高体連バスケット専門部と自転車専門部が、有力チーム、有力選手を指定し、県外合宿等を実施

4 内容

- ・ 県内外での強化合宿、練習
- ・ 国内トップレベルのコーチを招へいした講習会等の実施
- ・ トレーナー等を活用したコンディショニング調整

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	B
課題	競技力向上対策					
	指標	国民体育大会男女総合成績			単位	順位
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
	20位台以内	29	36	28	23	35
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業費	予算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,800
	決算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,800
一般	予算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,800
	決算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,800
財源	決算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,800
事業費累計		590,000	610,000	630,000	650,000	670,800
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	国体における天皇杯順位は下降したが、インターハイをはじめとする全国大会で好成績を収めており、県内高等学校運動部活動の強化が図られている。 ・国民体育大会における高校生の個人入賞数の増加 (H30:18→R1:21) ・全国高校総体における団体競技入賞数の増加 (H30:5→R1:6) ・全国高校総体(H30,R1)、国民体育大会(H30,R1)におけるウェイトリフティング競技少年男子優勝(2連覇) ・全国高校総体における卓球競技女子シングルス優勝(県勢初) ・国民体育大会における陸上競技少年女子優勝(2年連続)				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	高校生の強化は、国体少年種別の強化及び将来の国体成年選手の強化にもつながることから、引き続き、全国大会で実績を挙げている運動部活動に対して、集中的に強化を図る。 また、R3年度全国高校総体において、本県で開催される4競技(バレー、ソフトテニス、剣道、なぎなた)の重点的な強化を図る。 【R2強化指定校】 27校27競技48運動部 【R2重点強化指定】 8競技10運動部22名 【R2全国高校総体特別強化指定専門部】 県高体連バレーボール専門部、ソフトテニス専門部、剣道専門部、なぎなた専門部				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	中学生強化事業費	事業開始年度	H5	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作成者	組織	スポーツ振興課			
	職・氏名	課長補佐 井波 真祐			
	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4379			

事業の背景・目的
 全国中学生大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手、成年の部選手として活躍できるように、計画的に強化育成し、競技力の向上を図る。

事業の概要

1 強化事業

(1)実施競技
 県中学校体育連盟に加盟の18競技

(2)対象
 県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者

(3)内容
 県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4)経費
 県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

2 重点強化事業

(1)実施競技
 重点強化競技に指定した5競技

(2)対象
 将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待できる選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者

(3)内容
 科学トレーニングの活用および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4)経費
 科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	B
課題	競技力向上対策				評価	
指標	国民体育大会男女総合成績				単位	順位
目標値	現状値					
令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	
20位台以内	29	36	28	23	35	
北信越総体	目標	34	34	34	34	
優勝数	実績	21	24	26	29	
事業費						
(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	
事業費 予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
一般 決算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
財源 予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
財源 決算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
事業費累計	143,134	150,634	158,134	165,634	173,134	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	全国中学校体育大会等において、優勝、準優勝の活躍が見られ、県内中学校運動部活動の強化が図られている。 また、目標には届いていないが、近年、北信越大会の優勝数が増加傾向にある。 ・全国中学校体育大会における入賞数が増加 H30:15→R1:24 ・全国中学校体育大会において重点強化に指定したハンドボールが優勝、相撲と水泳が準優勝 ・全国中学校駅伝大会において本県代表女子チームが準優勝				
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	中学生の強化は、国体少年種別の強化及び将来の国体成年選手の強化にもつながることから、県中体連と連携し、引き続き、中学生の育成・強化を図る。 特にR2年度は、全国大会で活躍が期待される相撲、水泳(飛込)、ハンドボール、柔道、スキーの5競技を重点的に強化する。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 科学的トレーニング特別強化事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職・氏名	課長補佐 井波 真祐			
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4379			

事業の背景・目的

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

事業の概要

- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手80名
- 2 内容
 - (1) 講師招聘による研修会
 - (2) 基礎体力測定
 - (3) 専門測定・分析
 - (4) トレーニング処方作成・提示
 - (5) トレーニング実践指導
 - (6) 国立スポーツ科学センター(JISS)との連携

※年2回、基礎体力測定・専門測定を実施し、トレーニング処方を作成
 ※トレーニング処方に基づいた専門指導の実施、コントロールテストの実施

 - (7) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導

※強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりの指導、スポーツマッサージ等
 ※競技者の健康管理、及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導
- 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	B
課題	競技力向上対策					
指標	国民体育大会男女総合成績			単位	順位	
目標値	現状値					
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
	20位台以内	29	36	28	23	35
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業費	予算	2,700	2,500	2,500	2,000	2,000
	決算	2,700	2,500	2,500	2,000	2,000
一般	予算	2,700	2,500	2,500	2,000	2,000
	決算	2,700	2,500	2,500	2,000	2,000
事業費累計		21,740	24,240	26,740	28,740	30,740
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	指定選手(80人)の約4割が茨城国体で入賞を果たした。 また、ハンドボール競技の国体7連覇を含む全国大会4冠や、相撲競技の全国大会個人3冠、陸上競技の国体個人優勝などの活躍が見られた。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、専門的知識を有する大学教授や医師、理学療法士等による指導に加え、体力測定をさらに発展させ、より効果的な測定、分析、指導を実践し、さらなる競技力の向上を図る。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわジュニアアスリート発掘事業費	事業開始年度 根拠法令 ・計画等	H30 第2期石川の教育振興基本計画	事業終了予定年度		
	作組織 成職・氏名 者電話番号	スポーツ振興課 専門員 西村 剛 076 - 225 - 1392 内線 4380			

事業の背景・目的
最新機器を活用した運動能力測定会や、各競技団体によるスポーツ見本市(簡易スポーツ体験会)を開催し、子どもたちが自分の可能性に気づき、未来のアスリートとして成長するきっかけを作ることで、本県スポーツの裾野の拡大と競技力の向上につなげる。

事業の概要

1 対象 県内小学生1年生から6年生 600名

2 内容

(1)運動能力測定会
・最新機器を活用して6種目の運動能力を測定し、64種目の中から自分の適性に合った10種目のスポーツを選定
・専門スタッフによる、個々に応じたトレーニングのアドバイス

(2)スポーツ見本市
・県内競技団体が実施する簡易スポーツ体験コーナー。興味・関心のあるスポーツや測定データから自分に合ったスポーツを自由に体験する。

会場 いしかわ総合スポーツセンター
七尾総合市民体育館

(3)スポーツ体験教室
・県内競技団体が実施する体験教室。

会場 各競技団体の拠点場所

(4)育成プログラム
・スポーツセンターの体力測定機器を活用したトレーニング
・栄養講座
・メンタルトレーニング

対象者 県内小学3年生から6年生の児童及びその保護者(定員:30名)
会場 いしかわ総合スポーツセンター

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	B
課題	競技力向上対策					
	指標	運動能力測定会参加人数			単位	人
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
	600				320	605

事業費						
(単位:千円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業費	予算				3,000	2,400
	決算				2,345	2,085
一般財源	予算				3,000	2,400
	決算				2,345	2,085
事業費累計		0	0	0	2,345	4,430

評価	
項目	評価
左記の評価の理由	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>対象者や会場の拡大を図ったことにより、運動能力測定会及びスポーツ見本市には、605名(H30:320名)の児童の参加があった。また、事後アンケートでは、約9割の児童が「楽しかった」と回答し、高評価を得ている。 対象者の拡大(H30:小学4年～6年→R1:小学1年～6年) 会場の拡大(H30:金沢会場のみ→R1:金沢、七尾)</p> <p>スポーツ体験教室実施状況(R1) 【1回実施競技】 柔道、ボクシング、ラグビー、レスリング、フェンシング、アーチェリー、なぎなた、ソフトテニス 【2回実施競技】 アイスホッケー</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">継続</p> <p>児童に多様なスポーツに出会う機会を提供することは、未来のアスリートとして成長するきっかけづくりとなることから、「運動能力測定会」と「スポーツ見本市」を一体的に開催するとともに、競技団体と連携し、スポーツ体験教室の拡大を目指す。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわアスリートキャリアサポート事業費	事業開始年度 H30	事業終了予定年度	作成者 組織 スポーツ振興課 職・氏名 専門員 西村 剛
	根拠法令・計画等 第2期石川の教育振興基本計画	電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4380	

事業の背景・目的
有望なアスリートと競技の継続をサポートする県内企業のマッチングを支援することで本県のスポーツの競技力向上とアスリートの県内就職を促進する

事業の概要

1 期間
平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 対象

(1)選手

- ・国体実施競技の競技団体から推薦を受けた者
- ・石川県内での就職を希望する者
- ・大学生及び社会人(石川県出身者に限らない)
- ・国体出場レベルの競技力を有し、就職後も競技を継続する意思を有する者

(2)企業

- ・県内に本社または事業所を有し、全国大会等で活躍が期待される選手を採用する意志があり競技活動への理解と協力ができる企業とする

3 事業内容

- ・協力企業のリストアップ
- ・県内就職を希望する選手のリストアップ
- ・スポーツ振興課のHPで企業情報の提供
- ・競技団体・選手との相談
- ・就職試験にかかる交通費の補助

施策・課題の状況				
施策	競技スポーツの充実・強化	評価	B	
課題	競技力向上対策			
	指標	県内企業へのアスリートの就職数	単位	人
	目標値	現状値		
	令和2年度	平成30年度	令和1年度	
	10	5	5	
事業費				
	(単位:千円)	平成30年度	令和1年度	
事業費	予算	500	800	
	決算	30	10	
一般財源	予算	500	800	
	決算	30	10	
事業費累計	0	0	30	40
評価				
項目	評価	左記の評価の理由		
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	C	いしかわ就職フェアへの参加促進やアスリートの採用に関心のある企業情報の提供、個別対応により、対象者25名のうち5名が県内企業へ就職することができた。 また、協力企業も増加した。 協力企業数(H30:60社→R1:64社) 実際に採用した企業からは、「スポーツで培った体力と精神力で、しっかり仕事に取り組んでおり、大変助かっている。」等の声が聞かれ、評価を得ている。		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、スポーツ振興課のHPで企業情報を発信するとともに、行政経営課と連携し「いしかわ民間タイアップ事業」においても情報を発信する。 また、アスリートを採用した企業の高評価を他の企業に伝え、魅力ある企業の更なる発掘を図るとともに、対象者がいる競技団体と連携を密にして、個別対応を重点的に推進する。		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 障害者アスリート支援事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	第2期 石川の教育振興基本計画		
				作 組 織
				ス ー ツ 振 興 課
				成 職 ・ 氏 名
				課長補佐 井波 真祐
				者 電 話 番 号
				076 - 225 - 1392 内線 4379

事業の背景・目的
 障害者アスリートに対し、国際大会及び国内大会に出場するために必要な費用や、中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援することにより、選手の競技力の向上を図ることを目的とする。

事業の概要

1 内 容
 (1) 国際大会や全国大会に出場するために必要な費用を支援
 (2) 中央競技団体が主催する強化練習・合宿に参加するための費用を支援
 (3) (1)と(2)に要する交通費、宿泊費、参加負担金、競技用具運搬費、保険料の補助

2 対 象
 次の(1)～(3)すべてに該当する選手及びその介助者(1名まで)
 (1) 石川県出身者(石川県内の中学校又は高等学校の卒業生)または、現在、石川県内に住所を有する者
 (2) 石川県障害者スポーツ協会から推薦を受けた者
 (3) 過去5年間に国際大会か全国大会で入賞したことがあり、今後も活躍が期待できる者

3 補助金額
 (1) 国際大会
 対象者が支払った対象経費の合計額(1大会当たり上限は10万円)
 (2) 全国大会
 対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1大会当たり上限は10万円)
 (3) 中央競技団体が実施する強化練習・合宿
 対象者が支払った対象経費の合計額の1/3 (1回当たり上限は10万円)

※(3)は中央競技団体から日本代表選手として指定されている選手のみ

4 期 間 平成31年4月1日～令和2年3月31日

これまでの見直し状況
 R1:・中央競技団体主催の強化合宿に参加する際の経費及び競技用具の運搬費・保険料を補助対象経費に追加
 ・中央競技団体が指定する日本代表選手及び強化指定選手を対象者に追加

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	B
課題	競技力向上対策					
	指標	申請件数			単位	件
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
	20			8	12	25
事業費						
	(単位:千円)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
事業費	予算			1,100	1,070	2,000
	決算			709	336	604
一般財源	予算			1,100	1,070	2,000
	決算			709	336	604
事業費累計				709	1,045	1,649
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	A	補助対象経費の追加など制度拡充を図ったところ、制度活用実績は大きく伸びた。 本制度を活用した関係者からは、「選手本人だけでなく、介助者も対象となっていること」、「一回だけでなく、何回でも活用できること」について高い評価をいただいております、競技力向上に寄与している。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県障害者スポーツ協会と連携を図り、制度拡充を含めた本事業を周知し、活用実績を伸ばすことで、障がい者アスリートの競技力の向上を後押しする。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	(新) いしかわオリンピック特別強化支援事業費	事業開始年度	R1	事業終了予定年度	R1	作 組 織	スポーツ振興課	
		根拠法令 ・計画等	第2期 石川県スポーツ振興基本計画		成 職・氏名		専門員 西村 剛	
						者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4380	

事業の背景・目的
 県内競技団体が主体で行う東京オリンピックに向けた直前強化策を支援し、県内有望選手の東京オリンピックへの出場と活躍につなげる。

事業の概要

1 対象者
 指定競技団体
 3競技: 体操(トランポリン)・ハンドボール・ウエイトリフティング

2 事業の内容
 (1) 県内外、海外での合宿
 県内外、海外での強化合宿、練習会等
 (2) トップコーチ招聘事業
 国際レベルのコーチによる選手への指導・助言等
 (3) コンディショニング事業
 トレーナー活用、整体、鍼灸等

3 期 間
 平成31年4月1日～令和2年3月31日

施策・課題の状況				
施策	競技スポーツの充実・強化	評価	B	
課題	競技力向上対策	評価	B	
	指標	オリンピック出場者数	単位	人
	目標値	現状値		
	令和1年度			令和1年度
	10			1
事業費				
	(単位: 千円)			令和1年度
事業費	予算			6,000
	決算			6,000
一般財源	予算			6,000
	決算			6,000
事業費累計				6,000
項目	評価	左記の評価の理由		
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	指定3競技(トランポリン、ハンドボール、ウエイトリフティング)ともに国際大会で活躍し、うちトランポリンの指定選手1名が東京オリンピック出場内定した。ハンドボールにおいても多数の東京オリンピック出場が期待される。 <R1主な成績> トランポリン: 世界選手権個人1位(日本人初)、シンクロ1位 ハンドボール: 世界選手権10位 ウエイトリフティング: 世界選手権12位		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	本事業は東京オリンピック直前強化策として主にオリンピック出場に向け重点的に強化を行ったものであることから、R1年度限りで廃止する。出場内定後、オリンピック開催までは、各中央競技団体が計画的に選手強化を実施する。		